

報 告 書

開催日時	平成 25 年 11 月 20 日（水）午後 7 時～ 8 時	
開催場所	高田東中学校	
出席議員	挨拶	及川修一班長（教育民生常任委員会委員長）
	司会進行	大坪涼子
	報告者	及川修一
	記録者	鵜浦昌也
	議員	大坂俊、松田信之、清水幸男
参加人数	市民 4 人、教諭 3 人	
懇談テーマ	震災後の学校施設の整備状況について	
主な要望 ・ 提言等	<p>1. 4月に米崎、小友、広田の三中学校が統合した。当初、統合すればそれぞれの学校の特徴があるので混乱するだろうと思っていたが、生徒たちは運動会への取り組みを通じて話し合いの機会が増え仲良くなった。人数が増え、戦いの形も応援も大きくなり、友達の輪が広がった。生徒たちは授業面、クラブ活動に一生懸命取り組んでいる。ほかの生徒の話をよく聞き、お互い刺激し合い、授業も落ち着いた楽しい雰囲気の中でできている。運動面では新人戦で好成績をおさめた。レギュラー争いが大変だったようで、今まで自宅でやったことのない素振りをしている野球部の生徒も見られる。各先生は生徒の心のケアにも注意し、パニック症状などがでないよう気を配っている。</p> <p>2. 仮設グラウンドがもう少し広げればと思う。運動会で嬉しかったのは、練習時に地域の方々から「子どもたちの大きな声が聞こえていい」と言われたこと。太鼓の音やスピーカを使った応援など、うるさいのではと心配したが、励ましていただいた。来場してもらった保護者用の駐車場スペースが狭かったが、地域の方々に協力していただいて対処できた。学校入口の工事に伴い誘導員が立っているが、生徒たちは元気にあいさつするなど、微笑ましい光景が見られる。体育館の床を改修しており、生徒はじめ教職員も使用できることを楽しみにしている。</p> <p>3. 統合前の学校は少人数で、人間関係が固まって交友関係が広げられなかったと思う。統合したことで仲間が広がり、明るく楽しい時間を過ごしている。地域の方々の協力をいただき、統合して良かった。最近気になったのは、高田高校の校舎新築に関し、当初の設計と実際に造られるのが変わりそうだと話を聞いた。設計通りにやると費用がか</p>	

	<p>かり過ぎるので、費用を削られて特徴のない校舎になりそうだという。本校の新校舎設計にあたっては、生徒、職員、地域住民が深くかかわってただけに、設計通りに造ってほしいと願っている。</p> <p>4. 統合前は保護者も神経質になって心配したが、時間の経過とともに子どもたち同士仲良くなった。新校舎の完成とともにグラウンドも早めに整備してほしいと思う。統合により、いい面がでている。来年、再来年と進めばジャージの色もそろうので、もっと良い方向に進んでいくことが期待できる。</p> <p>5. スクールバスに関し、「五年を目処に少なくなり、十年後にはなくなるのではないか」との話を聞く。今後、公共交通機関の復旧とともになくなるのが心配。来年あたりから予算が減らされないようお願いしたい。運行時間も学校行事に合わせて考えてほしい。部活動用の支援バスについても継続してほしい。</p> <p>6. 周辺の道路がいまだ陥没している場所があり、生徒は自転車で通学ができない。とくに海沿いの道路が危険。</p> <p>7. 統合後、生徒たちは小友や広田からも米崎に通っている。小友や広田の子は米崎の地形を詳しく知らないことから、有事の際にどこへ逃げたらいいのか分からない。子どもだけが避難場所を把握するのではなく、保護者も分かっていることが必要。バスの乗車中だったり、友だちの家に遊びに行っている時やクラブ活動中など、それぞれの状況でも避難先を知っておくべき。</p> <p>8. 最近、仮設グラウンドが傷んでいる。雨で土が流れるなど、整備が必要。グラウンドには照明があるが、帰るときに消すと真っ暗になり、生徒たちは帰り支度ができず苦勞している。周囲に街灯の設置をお願いしたい。</p>
<p>所 感</p>	<p>【及川修一】</p> <p>議会報告会の周知方法に問題があり、父母の集まりが極端に悪かったことを反省しなくてはならない。</p> <p>ただ、結果として、校長先生や副校長先生から、集約された現状や問題点を聞くことができた。</p> <p>統合されたばかりの学校ということで、心配された子供同士の関係も良好であり、部活動の県大会での大活躍は、その証だと捉えられていた。</p> <p>【大坪涼子】</p> <p>統合した東中学校のPTA役員や先生方との懇談会だった。新しい学校で子どもたちがのびのびと勉強や活動ができるように気を使いながら取り組んでいることや、統合前の学校の良さも生かしている現場の話を聞くことができた。新しい校舎建設やスクールバス運行などが課題と感</p>

じた。

【鵜浦昌也】

統合後の生徒たちの学校生活に大きな問題はないとのことで安心した。また、仮設グラウンドなど教育環境は整いつつあるものの、街灯など細かな面でまだまだ整備が必要であることが分かった。

【大坂 俊】

教師父兄とも、統合後の良好な校内状況に対する取組に積極的であり、紹介された生徒の姿勢を思うに、良好な今後の学校運営を感じることもできる懇親会であったと思う。

【松田信之】

統合後、生徒の学校生活が予想以上に混乱なくできていると感じた。しかし、支援バスの継続と更なる拡充、施設整備の不足等の課題があると感じた。報告会の周知に課題があった。

【清水幸男】

今回の懇談テーマは「震災後の学校施設の整備状況」であったが、特にも東中学校統合後の施設を含めた学校環境の状況には、強く関心のあるところである。

懇談では、子供たち統合の環境変化に対するスムーズな対応や切磋琢磨の状況を伺え、適正規模化への状況確認を行うことが出来た。

今後においては、新設する学校校舎等の建設にあたり、子供たちの夢が叶えられるようお願いしたい。

陸前高田市議会 議会広聴広報特別委員会

広聴小委員会小委員長 松田 信之 殿

平成25年12月2日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成25年度議会報告会2班（教民班）

班長 及川 修一

